



株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第88期の事業の概況と決算についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

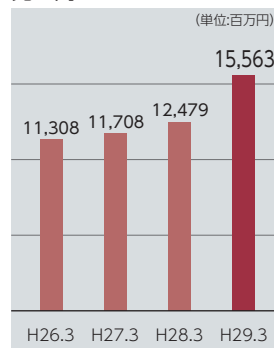
平成29年 6月



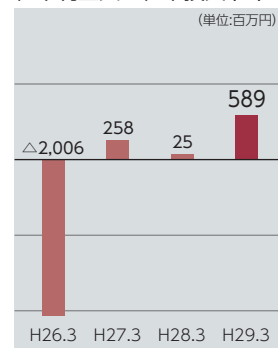
取締役社長 寶角 正明

財務ハイライト

売上高



経常利益又は経常損失(△)



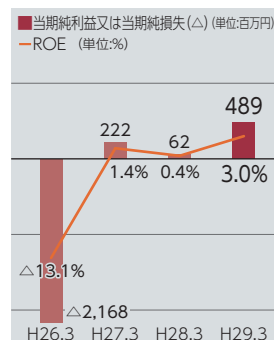
第88期 株 主 通 信

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

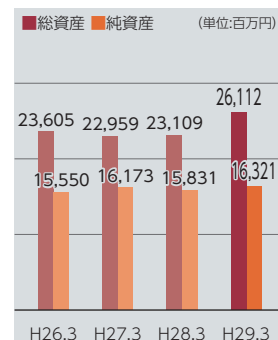
 高田機工株式會社

証券コード: 5923

当期純利益又は当期純損失(△)・ROE*



総資産・純資産



*ROE: Return On Equityの略。自己資本利益率ともいい、当期純利益を、自己資本で除したものの。






当事業年度の事業概況

当事業年度におけるわが国経済は、個人消費は低調に推移したものの、政府の経済政策等を背景に企業収益や雇用環境には改善の動きが見られ、海外の政治経済の影響を受けながらも、全体としては緩やかな回復基調で推移いたしました。

橋梁事業におきましては、期待された国土交通省からの発注が遅れ気味となり、高速道路会社発注の案件も減少するなど新設鋼橋の発注量は前事業年度を下回る結果となりました。鉄構事業では需要は堅調に推移いたしました。大型再開発案件は「首都圏一極集中」が継続し、首都圏以外での大型再開発案件は極めて少ない状態が続きました。

このような状況のもとで当社は、橋梁事業では応札案件を更に絞り込むことで技術提案の内容強化と入札価格の精度向上を図り、目標とする案件の受注を積み上げてまいりました。鉄構事業におきましても採算性重視の基本方針を保ちながら、首都圏での大型案件を受注することができ、前事業年度を大きく上回る受注量を確保することができました。この結果、当事業年度の受注高は総額では前事業年度を上回ることができました。

損益面につきましては、前事業年度末の受注残高を背景に年間を通じて橋梁工場が高い操業度を保ち、現場施工も順調に推移したことで、橋梁事業の採算は前事業年度から大きく改善いたしました。鉄構事業でも不採算工事は一掃され、黒字体質へと転換することができました。これらの結果、当事業年度の業績につきましては、各利益とも前事業年度を上回る結果となりました。

売上高	155億63百万円 前期比 24.7%増 橋梁事業 125億42百万円 前期比28.2%増 鉄構事業 30億21百万円 前期比12.1%増	
経常利益	5億89百万円 前期25百万円	
当期純利益	4億89百万円 前期比 678.7%増	
受注高	193億84百万円 前期比 6.5%増 橋梁事業 128億6百万円 前期比10.6%減 鉄構事業 65億77百万円 前期比69.6%増	
受注残高	231億34百万円 前期比 19.8%増 橋梁事業 170億4百万円 前期比1.6%増 鉄構事業 61億29百万円 前期比138.1%増	

今後の見通し

橋梁事業では新設鋼橋の発注量は当事業年度並みと予想されます。国土交通省からの発注は微増が見込まれますが、高速道路会社からの発注が不透明な状態です。地域的には中部地区の発注が多く、東北地区の復興案件の発注が期待されます。一方で保全・中大規模改築工事の発注は今後も更に増加することが予想されます。

鉄構事業では首都圏での大型再開発高層案件の工事が本格化し需要急増が見込まれますが、発注側の技術者不足やファブリーケーター側の供給能力の観点から、円滑な進捗が図れるか不安が残ります。地域的には「首都圏一極集中」の様相が当面は継続すると予想されます。

今後も厳しい事業環境が継続しますが、当社はここ数年間着実に受注高を伸ばしており、業績は回復基調にあります。新年度の基本方針[右図]を軸として、全社一丸となり業績の拡大に取り組んでまいります。



出典：社内掲示ポスター

橋梁事業

主な売上工事

中部地方整備局の口ヶ島南高架橋、滋賀県の瀬田川橋梁、和歌山県の岩出橋

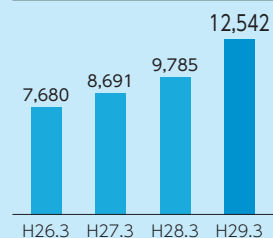


出屋敷高架橋 (近畿地方整備局)
(奈良県五條市 橋長285m, 鋼重520t)

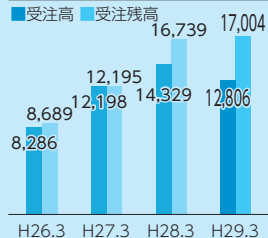
主な受注工事

中部地方整備局の鳥羽川高架橋・矢作川橋西、中日本高速道路(株)の葛葉川橋、西日本高速道路(株)の印南川橋他2橋、和歌山県の岡崎大橋

売上高 (単位:百万円)



受注高・受注残高 (単位:百万円)



鉄構事業

主な売上工事

(株)大林組のY計画別館・新南海会館ビル、大成建設(株)の日本医科大学付属病院・レッドウッド藤井寺

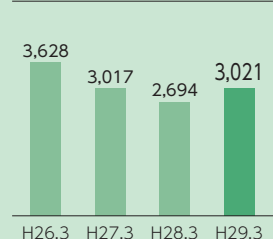


近畿大学東大阪キャンパスA棟シンボルタワー
(大阪府東大阪市 当社施工分946t)

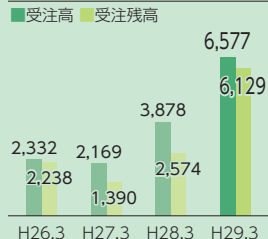
主な受注工事

(株)大林組の新南海会館ビル、大成建設(株)の豊洲二丁目駅前地区市街地再開発・渋谷駅街区東棟新築工事

売上高 (単位:百万円)



受注高・受注残高 (単位:百万円)



株式の状況

(平成29年3月31日現在)

発行可能株式総数 65,600,000株

発行済株式の総数 22,375,865株

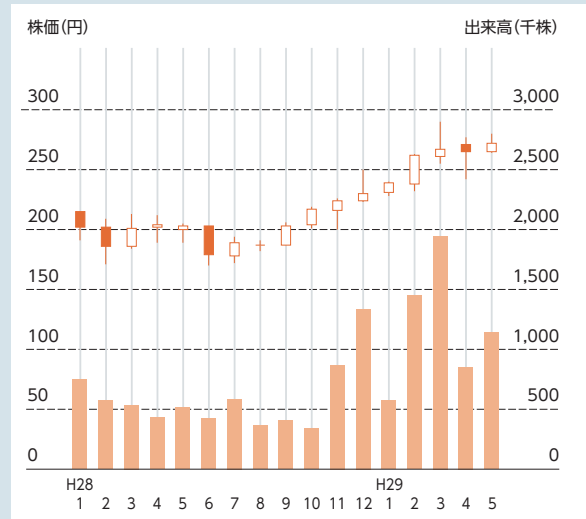
株主数 2,712名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	1,336	6.06
新日鐵住金株式会社	1,000	4.53
JFEスチール株式会社	915	4.15
株式会社奥村組	888	4.02
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	810	3.67
前尾和男	628	2.84
株式会社紀陽銀行	586	2.65
SMBCフレンド証券株式会社	567	2.57
神吉利郎	510	2.31
株式会社三井住友銀行	502	2.27

(注) 持株比率は、発行済株式の総数より自己株式(339千株)を控除して算出しています。

株価 / 出来高の推移



会社概要

(平成29年3月31日現在)

社名	高田機工株式会社
創業	大正10年(1921年)6月1日
設立	昭和7年(1932年)3月1日
資本金	51億7,871万円
代表者	取締役社長 寶角 正明
事業内容	▶道路橋、鉄道橋など鋼橋の設計・製作・架設 ▶ビル建築、学校体育館など鉄骨の設計・製作・架設 ▶鋼橋上部工の床版、舗装工事、標識、防護柵などの設置工事
本社	〒556-0011 大阪市浪速区難波中2丁目10番70号(パークスタワー6階) 電話(06)6649-5100(代)
東京本社	〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町3番2号(Daiwa小伝馬町ビル) 電話(03)3662-3581(代)
和歌山工場	〒649-0111 和歌山県海南市下津町方1375番地の1 電話(073)492-4700(代)
技術研究所	〒649-0111 和歌山県海南市下津町方1375番地の1 電話(073)492-4971
営業所	仙台・静岡・名古屋・和歌山・広島・福岡

(注)平成29年5月15日付で沖縄営業所(沖縄県国頭郡金武町)を新設いたしました。

役員

(平成29年6月28日現在)

代表取締役社長	寶角 正明
専務取締役執行役員	谷 俊 寛
常務取締役執行役員	嶋 崎 哲 太
常務取締役執行役員	梶 義 明
常務取締役執行役員	高 橋 裕
取締役執行役員	小 林 雄 紀
取締役執行役員	蔭 山 昌 弘
社外取締役	川 谷 充 郎
執行役員	坂 根 潤 一
執行役員	西 田 明
常勤監査役	坂 田 友 良
社外監査役	山 中 俊 廣
社外監査役	山 本 和 人

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031
インターネットホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	電子公告 (http://www.takadakiko.com/) ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部

単元未満株式の買取・買増について

単元未満(1,000株未満)の株式につきましては、買取または買増を請求いただくことができます。そのお手続きを希望される場合は、株主様の口座がある証券会社等にお申し出ください。
※特別口座に株式が記録されている場合は、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

表紙写真

(仮称) 瀬田川橋梁
工事名称: 国道422号補助道路路整備工事
発注者: 滋賀県
橋梁形式: バスケットハンドル式ニールセンローゼ橋
橋梁諸元: 橋長176m 鋼重1,412t
主構間隔19m アーチライズ27m
平成29年5月にアーチ部分の閉合を行った後の様子

高田機工株式会社

大阪市浪速区難波中2丁目10番70号(パークスタワー6階)

UD
FONT